

このたびは、マルチコンパクトミキサーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

目次

安全上のご注意	1~3
各部の名称と説明（前面）	4
各部の名称と説明（後面）	5
使い方	5
シグナル表示灯及びクリップ表示灯の見方	6
音質調節	6~7
モノラル入力コンプレッサー	7
ステレオ入力ミュート	7
リモート出力の使い方	7
ステレオセンド・リターン端子の使い方	8
ラックに取り付ける方法	8
調整のしかた	9
増設ミキサーとの接続方法	9
保護板の使い方	9
定格	10
外観寸法図	11
連絡先のご案内	12

安全上のご注意 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

<p>異常が起きたときは、ただちに使用をやめる 煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。</p>	  <p>プラグをコンセントから抜け</p>
<p>分解／改造はしない 火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。</p>	
<p>異物を入れない／濡らさない 水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)</p>	
<p>通風孔をふさがない 通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。</p>	
<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。</p>	
<p>表示された電源電圧以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因となります。</p>	
<p>雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない 感電の原因となります。</p>	
<p>ラックにマウントする際は説明に従って付属の金具を正しく使用し、固定してください。取付けに不備があると落下したりしてけがの原因となります。</p>	

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

<p>湿気やほこりの多い場所 油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因となることがあります。</p>	
<p>不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p>	
<p>工事は工事店に依頼する 工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。</p>	
<p>異常に温度が高くなる場所に放置しない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p>	
<p>長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災の原因となることがあります。</p>	  <p>プラグをコンセントから抜け</p>
<p>お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。</p>	 <p>プラグをコンセントから抜け</p>

⚠️ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

<p>電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない コードの被ふきが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>	
<p>長時間音が歪んだ状態で使わない スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</p>	
<p>濡れた手で、電源コードを抜き差ししない 感電の原因となります。</p>	
<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。</p>	
<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。</p>	
<p>移動するときは、コード類を傷つけない 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>	 <p>プラグをコンセントから抜け</p>
<p>この機器に乗ったり腰掛けたりしない 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。</p>	
<p>オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。</p>	
<p>1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。</p>	

設置・使用上のご注意

- 入力線と出力線は近づけずと発振する恐れがありますので、できるだけ離して配線してください。特にラックに組み込むときにはご注意ください。
 - EIAラックに組み込む場合は、本機の上下段には必ず1Uサイズ以上の換気パネル(別売ASB-102Fなど)を取り付けてください。
 - 直射日光の差し込む場所、温度の高くなる所には設置しないでください。また、湿度・ほこり及び振動の多い場所に設置すると故障の原因となることがあります。
 - 本機を雑音発生の原因になる機器^{*}の近くには設置しないでください。
- ^{*}高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。

各部の名称と説明（前面）

シグナル表示灯

モノラルに信号が入力された時に点灯します。

クリップ表示灯

モノラル信号がクリップする直前に点灯します。

モノラル音量調節つまみ

モノラル1～6、AUX7、8の各入力の音量を調節します。

モノラル1～6音量調節つまみ

モノラル1～6の音質を高域、中域、低域の3点で調節します。

AUX7、8音質調節つまみ

AUX7、8の音質を高域/低域の2点調節します。

ステレオ音量調節つまみ

ステレオ1～4の各入力の音量を調節します。

モノラル入力コンプレッサースイッチ

ONでモノラル1～6、AUX7～8の入力信号にコンプレッサーがかかります。

ステレオ入力ミュートスイッチ

ONでモノラル入力系に信号が入力されたときにステレオ1～4の信号がミュートされます。

出力レベルメーター

ミキシング出力端子へのレベルを表示します。

ステレオ入力選択ボタン

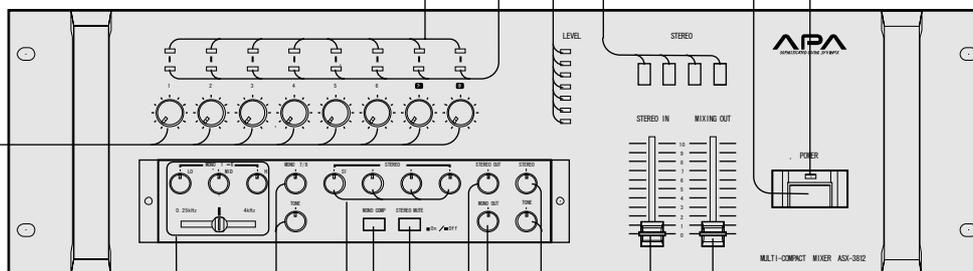
ステレオ1～4の中から1つを選択します。

電源スイッチ

このスイッチを押すと電源が入ります。

電源表示灯

電源が入ると緑に点灯します。



ミキシング出力フェーダー

モノラルとステレオのミキシング信号をミキシング出力端子への信号レベルを調節します。

ステレオ入力フェーダー

選択されたステレオ入力の信号レベルを調節します。

ステレオ音質調節つまみ

選択されたステレオ入力の音質を高域、低域の2点調節します。

モノラル出力音量調節つまみ

モノラル出力端子への信号レベルを調節します。

ステレオ出力音量調節つまみ

ステレオ出力端子への信号レベルを調節します。

各部の名称と説明（後面）

モノラル出力ジャック

モノラル系統信号の出力端子です。

ステレオ出力ジャック

ステレオ系統信号の出力端子です。

録音出力ジャック

ミキシング出力フェーダーのプリ出力で、テープデッキなどに録音するとき 사용합니다。

ミキシング出力ジャック

モノラル、ステレオのミキシング信号の出力端子です。

アース端子（雑音低減用）

この端子は他の音響機器などを接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

リモート出力端子

電源制御ユニット、FXシリーズなどの電源の“ON”“OFF”を本機と連動して行えます。

ステレオリターンジャック

エフェクターから信号を戻すときに使用します。

増設ミキサー接続用コネクター

ABX-2801を接続するとき 사용합니다。

モノラル入力ジャック

モノラル1~6, AUX 7, 8の信号を入力します。

AUX 7, 8入力感度調節つまみ

AUX 7, 8の入力感度を調節します。
(調節範囲 -20dB ~ +4dB)

ステレオ入力ジャック

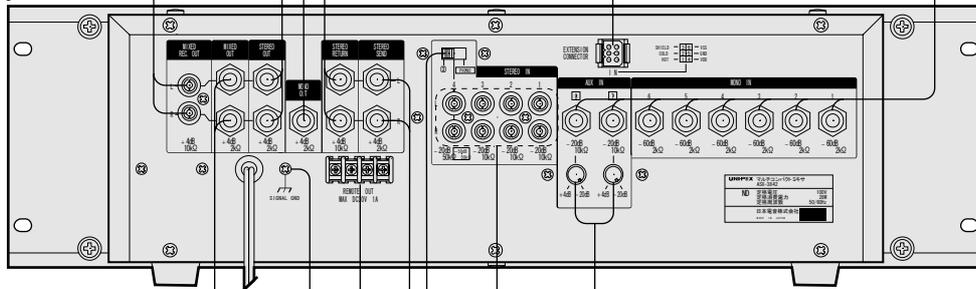
ステレオ1~4の信号を入力します。

CD/フォノ切替スイッチ

ステレオ4入力をCD(フラット)とフォノ(RIAAイコライザー)のいずれかに選択するスイッチです。

ステレオセンドジャック

本機のステレオ音質調節器を使用せずに他のエフェクターを用いるときなどに使用します。



使い方

1. 電源スイッチを“ON”にする前に

各入出力端子に機器が確実に接続されていることを確認してください。

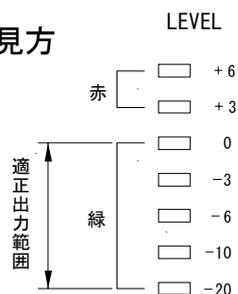
各出力音量調節つまみ及び出力フェーダーの位置に注意し、大きな音でスピーカを破損しないようにしてください。

2. 電源スイッチを“ON”にしてください。

電源表示灯が点灯します。

モノラル音量調節つまみ、ステレオ音量調節つまみで適当な音量に調節します。

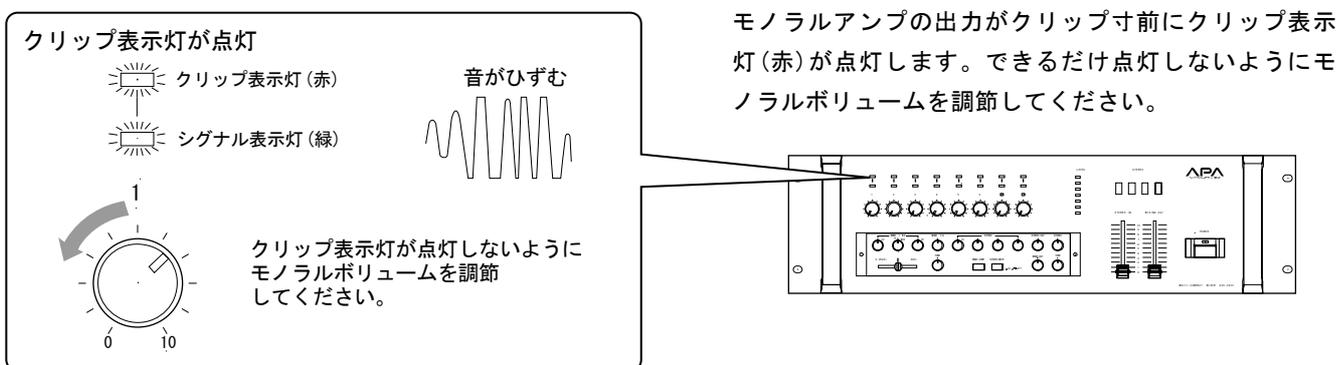
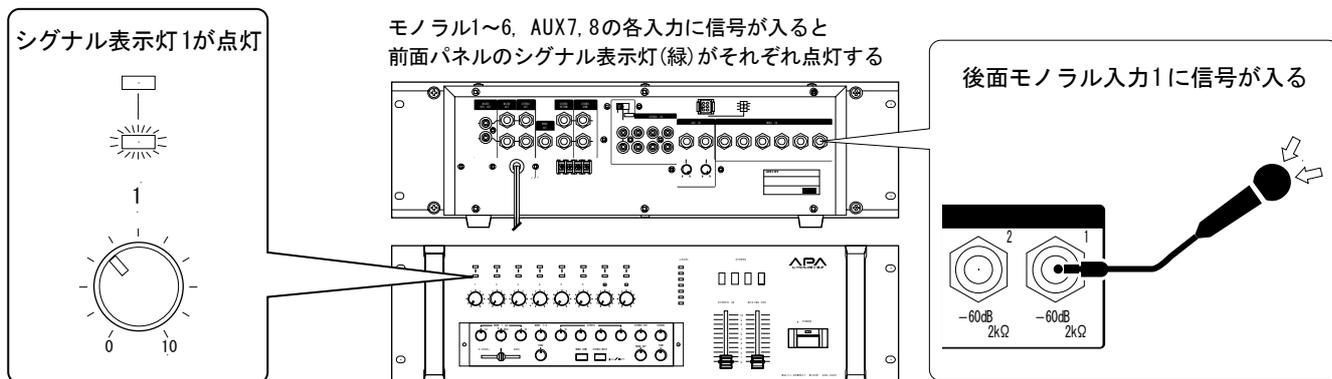
出力レベルメーターの見方



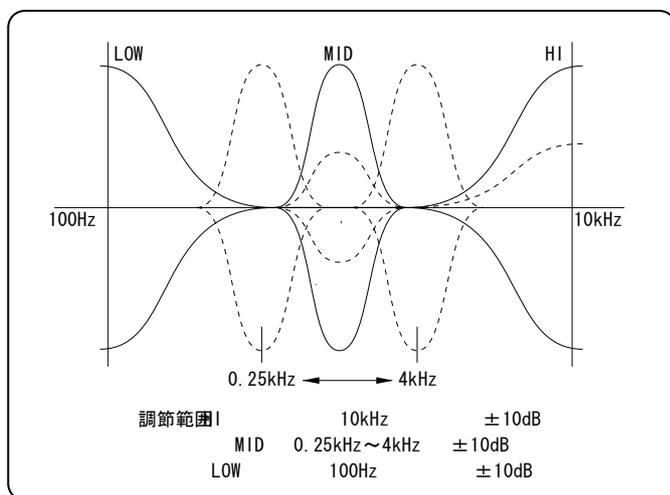
ミキシング出力のレベルに応じて出力レベルメーターが点灯します。連続して+3dBのLED(赤)が点灯しないようにミキシング出力フェーダーで音量を調節してください。

シグナル表示灯及びクリップ表示灯の見方

モノラル入力に信号が入るとシグナル表示灯(緑)が点灯します。それぞれの入力に対応していますので、どの入力から信号が入っているの一目でわかります。

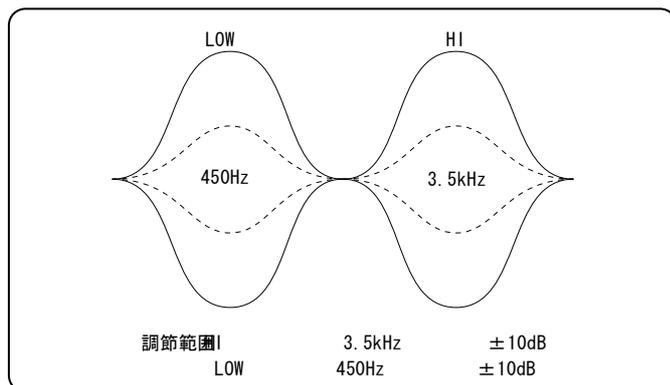
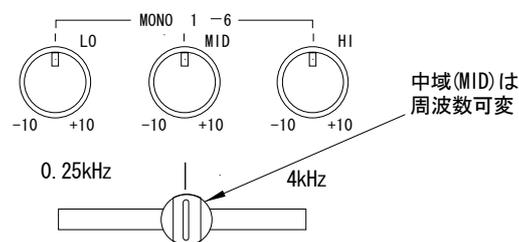


音質調節

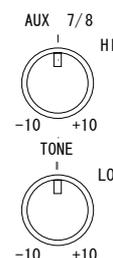


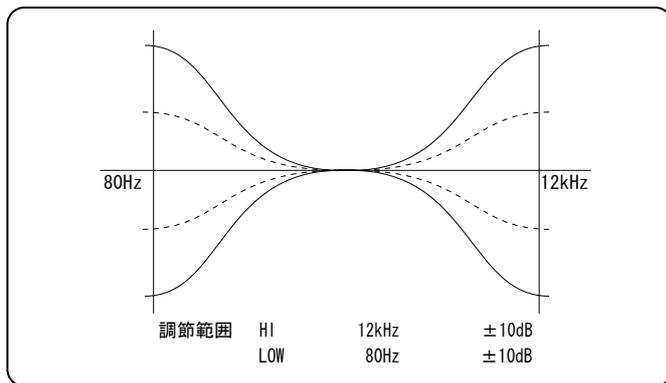
本機は、モノラル1~6, AUX7・8, ステレオ1~4の合計3つの系統の音質調節器を備えており、それぞれ独立して調節が行えます。

モノラル1~6はセミパラメトリック型で、高域、低域はシェルビング型で周波数固定、中域は周波数可変のピーキング型です。

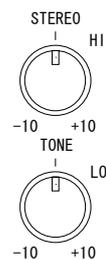


AUX 7, 8は周波数固定のピーキング型です。

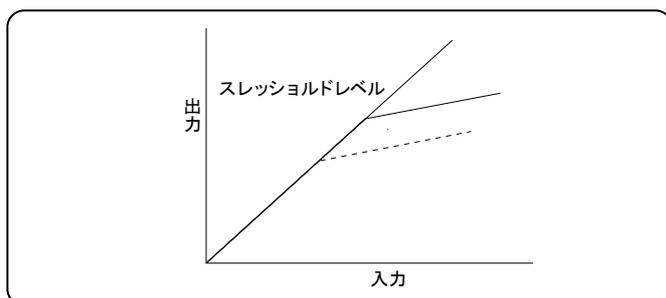




ステレオは周波数固定のシェルビング型です。



モノラル入力コンプレッサー

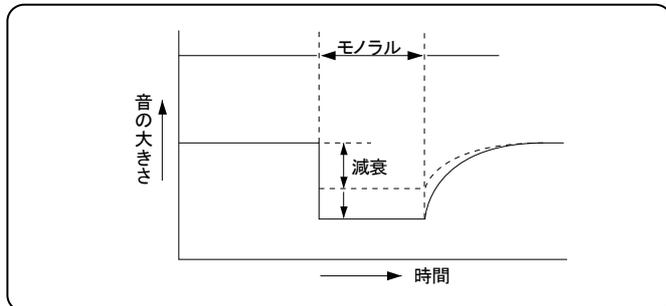


スイッチを“ON”にしておくと、モノラル入力に過大な信号が入力されたとき一定の比率で信号を圧縮し歪みを防止したり、ハウリングを軽減することができます。

“調整のしかた”参照



ステレオ入力ミュート

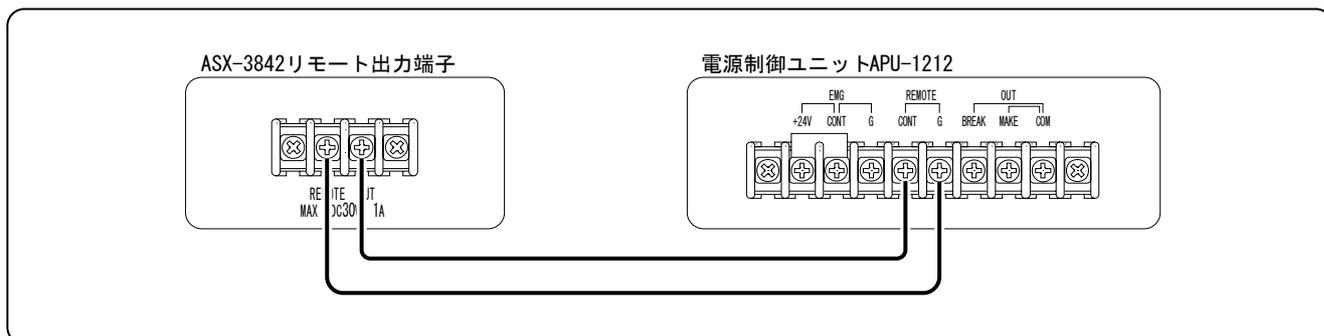


スイッチを“ON”にしておくと、モノラル入力系に信号が入力されたときステレオ入力系の信号レベルを自動的に減衰させ、モノラル入力の信号がなくなると自動的にステレオ信号が復帰します。

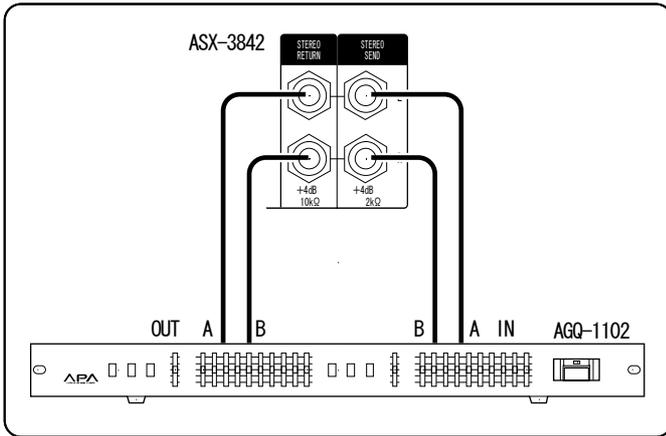


リモート出力の使い方

電源制御ユニットのリモート端子，FXシリーズの電源制御端子又は一斉制御端子と接続して本機の電源スイッチに連動して電源の“ON”“OFF”が行えます。制御容量はDC30V 1A以下です。



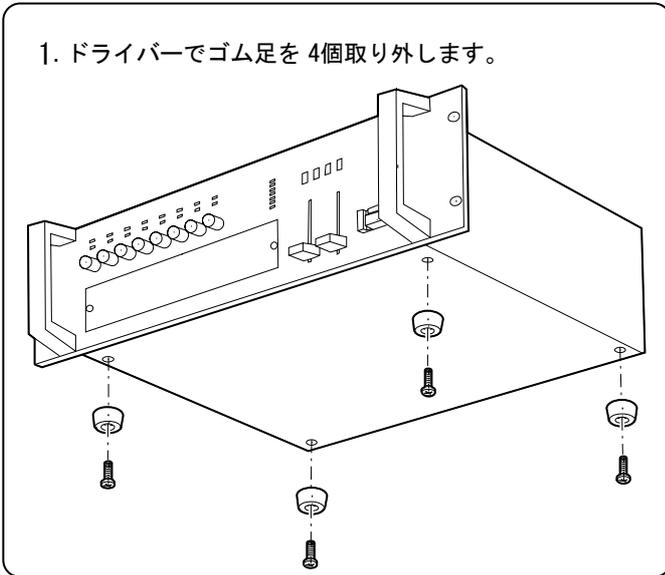
ステレオセンド・リターン端子の使い方



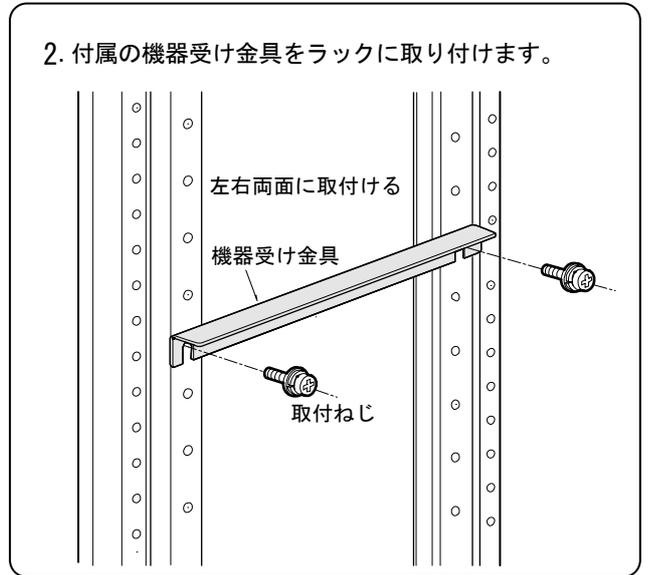
本機のステレオ音質調節器を用いずに他のエフェクターを用いる場合に使用します。センドから信号を取り出しエフェクターに信号を送り、エフェクターからの信号をリターンに入力します。リターンにプラグを挿入しますと、本機のステレオ音質調節器は無効となり動作しません。

ラックに取り付ける方法

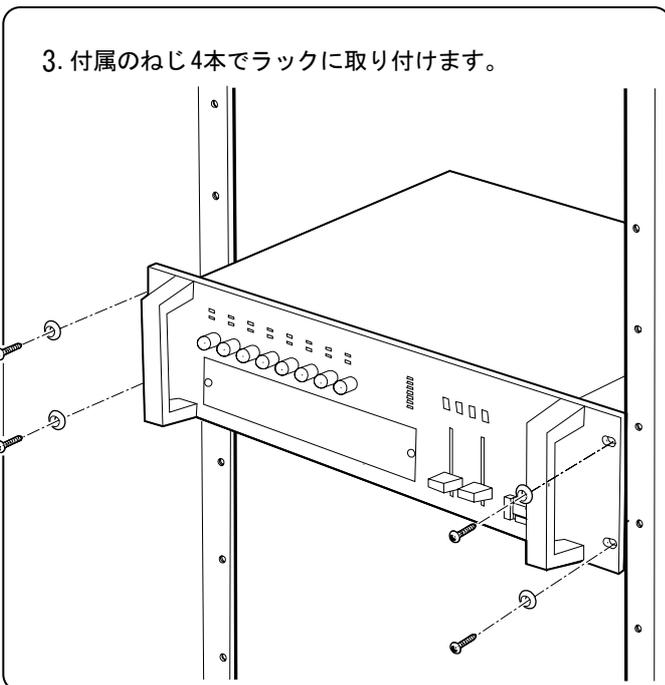
1. ドライバーでゴム足を 4個取り外します。



2. 付属の機器受け金具をラックに取り付けます。

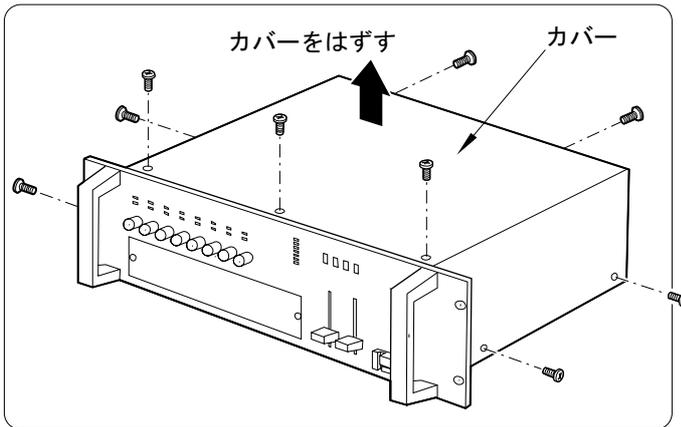


3. 付属のねじ4本でラックに取り付けます。



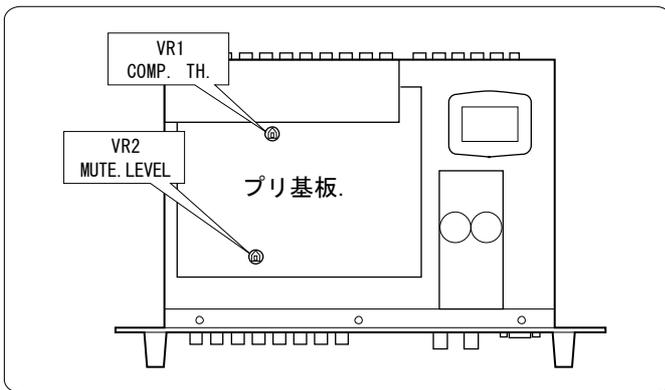
EIA規格に準拠したラックに取り付け可能です。

調整のしかた



本機はモノラル入力コンプレッサーのスレッシュホルドレベルと、ステレオ入力ミュートの減衰量を調節できます。本機の調整をする場合は必ず電源スイッチを“OFF”にし、電源プラグをACコンセントより抜き取ってください。

カバー取付ねじ10本をはずし、カバーを取りはずしてください。



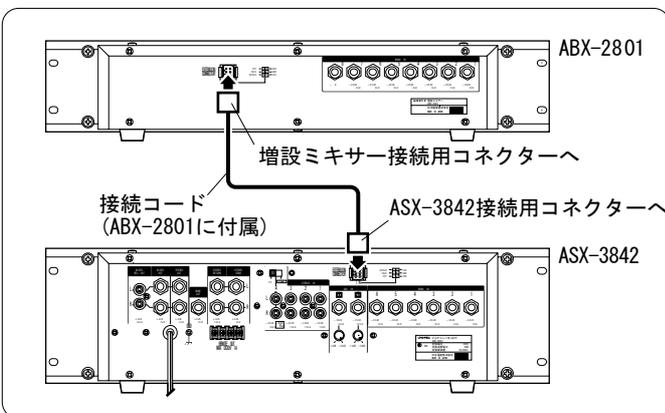
モノラル入力コンプレッサースレッシュホルドレベルの調整

プリ基板上のVR1を右に回すとコンプレッサーが動作を開始する点が入力信号レベルの低いところから動作を開始します。

ステレオ入力ミュート減衰量の調整

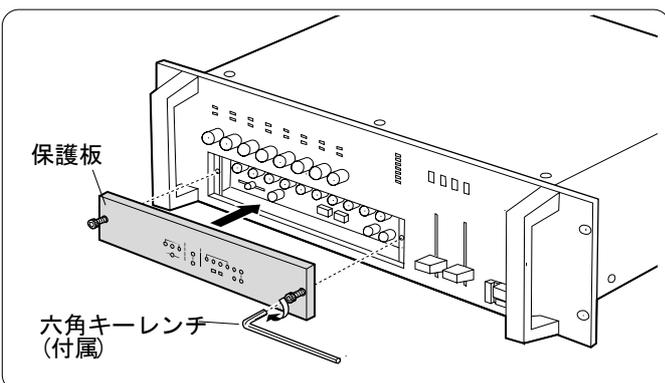
プリ基板上のVR2を左に回すと減衰量が大きくなり、右に回すと小さくなります。

増設ミキサーとの接続方法



本機は増設ミキサーABX-2801と組み合わせることによってモノラル入力を16回路まで増設することができます。ABX-2801に付属のコードを使用し接続してください。

保護板の使い方



普段あまり使わないつまみ類は1か所にまとめ、間違っ
て触れることの無いようにパネル面から下げて取り
付けています。放送中の事故を防ぐため、調整が終
りましたら、保護板を取り付けて放送されることをお
勧めします。

1. 保護板に付いているねじ2本を付属のキーレンチ
を使ってパネルに取り付けます。

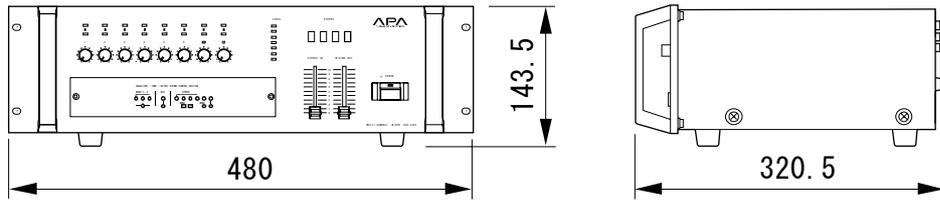
定格

0dB=0.775V

電 源	AC100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	28W (電気用品安全法による測定方法に基づく)
周 波 数 特 性	20Hz~20kHz +0.5dB -2dB(ステレオ入力、ミキシング出力間)
ひ ず み 率	0.1%以下(+4dB 20Hz~20kHzステレオ入力、ミキシング出力間)
信 号 対 雑 音 比	モノラル入力 60dB以上 (JIS-A) ステレオ入力 80dB以上 (JIS-A) 残留雑音比 85dB以上 (JIS-A)
最 大 出 力	+18dB
入 力 回 路	モノラル入力1~6 2kΩ 電子平衡 3極大形ジャック AUX入力7、8 -20dB~+4dB 10kΩ 電子平衡 3極大形ジャック ステレオ入力1~3 -20dB (L/R) 10kΩ 不平衡 ピンジャック ステレオ入力 4 -20dB (L/R) 50kΩ 不平衡 ピンジャック (スイッチにより選択) RIAA -50dB (L/R) 50kΩ 不平衡 ピンジャック スイッチによりステレオ入力1~4のうち1つを選択 ステレオリターン +4dB (L/R) 10kΩ 不平衡 2極大形ジャック
出 力 回 路	ミキシング出力+4dB (L/R) 2kΩ 電子平衡 3極大形ジャック モノラル系統出力+4dB 2kΩ 電子平衡 3極大形ジャック ステレオ系統出力+4dB (L/R) 2kΩ 電子平衡 3極大形ジャック 録音出力(ミキシング)+4dB (L/R) 10kΩ 不平衡 ピンジャック ステレオセンド+4dB (L/R) 2kΩ 不平衡 2極大形ジャック
モノラル入カイコライザー	LOW 100Hz ±10dB シェルビング形 MID 0.25kHz~4kHz ±10dB ピーキング形 (周波数可変) HIGH 10kHz ±10dB シェルビング形
ステレオ入カイコライザー	LOW 80Hz ±10dB シェルビング形 (ステレオリターン接続時に無効) HIGH 12kHz ±10dB シェルビング形
AUX 7, 8 音質補正	MID LOW 450Hz ±10dB ピーキング形 MID HIGH 3.5kHz ±10dB ピーキング形
レ ベ ル 計	LED (赤2点、緑5点) による
使 用 温 度 範 囲	-10°C~+55°C
寸 法	幅480mm 高さ143.5mm 奥行320.5mm
質 量	約7.0kg
付 属 品	取扱説明書 (保証書付) 1, M5×25皿ねじ 4, M5飾りワッシャー 4, 2.5mm六角キーレンチ 1, M5×10セムスポルト 4

外觀寸法図

(単位mm)



ユニペックス株式会社

RKTASX3842-H0-1